

### 北海道駒ヶ岳

#### ○地殻変動

2008年7月に、南西登山道沿いに設置している水準路線を(図1)の再測を実施した。1985年の水準路線設置以来の主要水準点の比高の経年変化を図2に示す。また、山頂の昭和4年火口周辺に設置している辺長基線(図3)の経年変化を図4に示す。

水準点比高変化、山頂部辺長変化ともに2000年の小噴火終息後、1996年噴火以前のような、山体膨張の傾向は認められない。なお、山麓沖積地の水準点(BM7068, Ko120)は1993年北海道南西沖、2003年十勝沖地震時に異常変動を示した。

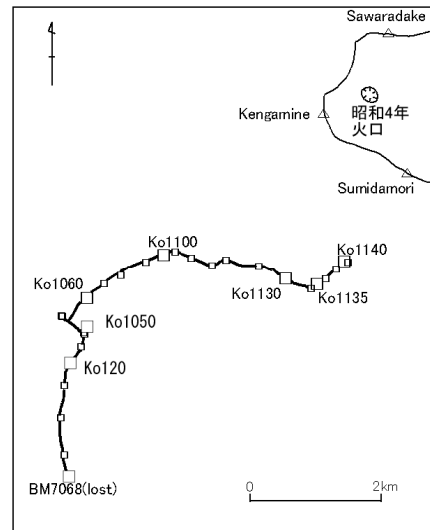
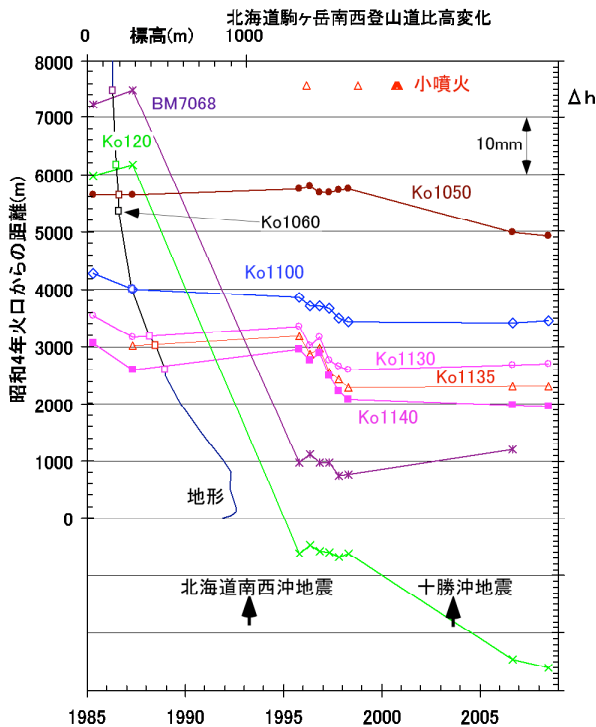


図1 南西登山道水準路線。水準点番号を付した点は図2に経年変化を表示した水準点。

図2 南西登山道水準路線主要水準点の比高(Δh)経年変化。基準はKo1060。BM7068は2008年に亡失。Ko1135は1987年設置。

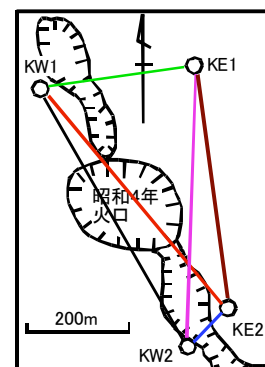
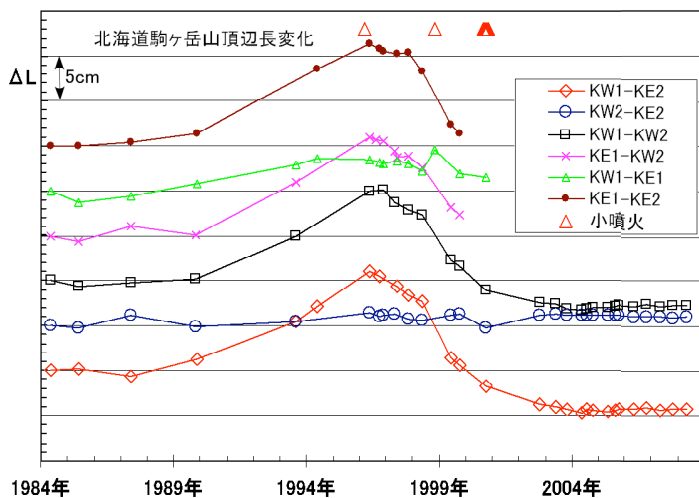


図3 昭和4年火口付近の基線(図4)の辺長経年変化。KE1は、2000年9月29日の小噴火で破損。2000年までは北海道大学、2002年以降は札幌管区気象台の測定値

図4 昭和4年火口付近の辺長測量基点(○)。基線の色は図3に対応。